



平成 25 年 7 月 17 日
第 2 号 (夏号)
南つくし野 小学校
南つく蝶プロジェクト
代表 河野哲也

蝶をシンボルに自然環境を守る

河野 哲也

昨年の八月、庭の日本スミレにツマグロヒョウモンの幼虫を見つけ、天敵のアシナガバチ等の蜂に捕食されぬよう家の中で飼育をした。10 匹の幼虫の食欲は盛んで、食草のスミレの供給に追われながらも全てが蛹に変態、やがて羽化をした。10 坪ほどの庭で起こった自然の営みである。今年もその季節となった。

近年、消えてゆく蝶と自然環境の変化に危機感を覚え、蝶をシンボルに自然環境を守る活動が行われている (NPO 法人日本チョウ類保全協会や日本鱗翅学会の活動)。

南つくし野小学校を中心に立ち上げた「南つく蝶プロジェクト」も蝶の飛ぶ街を目指すことによる自然環境の再生である。お父さん、お母さん、地域の市民の皆さんのご理解とご協力が、児童達と共に児童のためにつくろうとする蝶の飛ぶ街の実現に欠かせない。

昆虫や植物に関心をお持ちの方々の蝶プロジェクトへの積極的なご参加をお願いしたい。

夏の食草

これからの時期は、人間にとってはうっとうしい雑草が生い茂る季節。けれども、チョウにとっては雑草も貴重な食草です。道端や田畑、河原を散歩した折にはちょっと目を留めてみてください。

ベニシジミ	タデ科ギシギシ類、スイバ
コムスジ	クズ
キアゲハ	セリ類
ホシホウジャク (スズメガ科)	ヘクソカズラ
オオスカシバ (スズメガ科)	クチナシ



(コムスジ)

《危険》

夏は危険なガの幼虫もたくさん！

カキ、クリ、ケヤキ、カエデ類・・イラガの幼虫は有毒のとげがあり、触れると激痛が走ります。
ツバキ、サザンカ、お茶の木・・・チャドクガの幼虫は危険な毒毛虫。目に見えない毒針毛が風に運ばれると、近くにいるだけでかぶれます。

洗濯物も要注意です！！

小さいお子さんのいるご家庭はくれぐれもお気を付けください！！

かつどう しょうかい 活動の紹介

6月23日(日) 晴れ 場所ピロティ

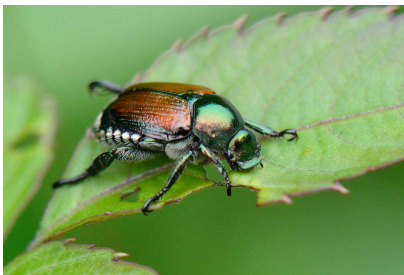
20名ほどの親子が集まりました。花壇に植えた植物のための名札を作りました。竹を割り削ったものにマジックで植物やその植物に来るチョウの名前を書き、シールを貼ったり、絵を描いたりしてすてきな名札ができました。

みんなで、名札を校庭のクローバー、パセリ、スマイレなどの花壇に挿しました。ぜひ、見てくださいね。

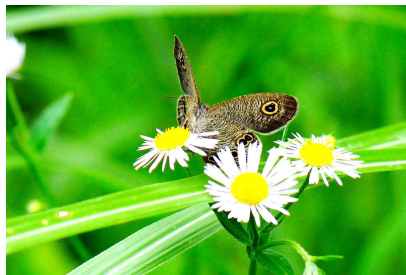


7月13日(土) 晴れ 場所 東工大 加藤山周辺

20名ほどの親子が集まりました。東工大の構内の加藤山で昆虫採集をしました。クロアゲハ、ヒメウラジャノメ、キチョウの他、コガネムシ、トンボ、カエルなども観察できました。クスノキに産卵にきたアオスジアゲハも観察できました。また秋にも観察会を予定しています。



(コメコガネ)



(ヒメウラネミジャノメ)



(シオカラトンボ)

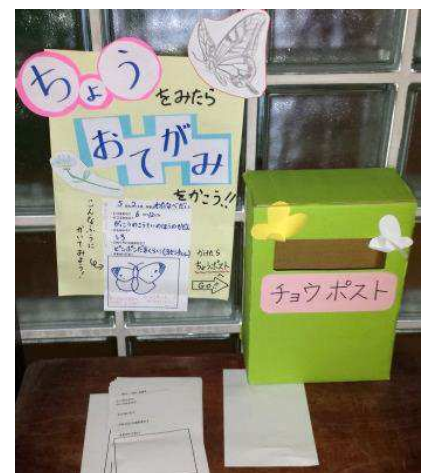
チョウポストを知っていますか？

「あの場所でこんなチョウを見たよ！」そんなチョウの目撃情報を教えてほしくて作ったポストです。職員玄関のベルマーク回収ボックスのとなりに置いてあります。南つくし野にはどんなチョウがいるのか、日頃から気にしてほしいです。詳しく種類がわからなくてもかまいません。ぜひ、チョウを見たらおてがみを書いてみてください。

7月10日までの集計

1年生 5通 2年生 8通 3年生 1通 4年生 0通 5年生 3通 6年生 1通

チョウの種類 ツマグロヒョウモン、アオスジアゲハ？、クロアゲハ？
アゲハチョウ、ジャノメチョウ？、モンシロチョウ



5年2組では蝶プロの係りができ、意欲的な児童が増えています。